

施工方法一覧

～メーター廻り～

- ① 既存φ25 取出しφ20MU
- ② 既存φ30 取出しφ25MU
- ③ 既存φ40 取出しφ25MU
- ④ 3階直結給水の3階φ20MU 廻り
- ⑤ φ20 取出しφ13M (ユニットではないメーター)
- ⑥ 既存φ13 取出し (官民境界から1.0m以上)
- ⑦ 既存φ13 取出し (官民境界から0.5以上1.0未満)
- ⑧ 既存φ13 取出し (官民境界から0.5未満)
- ⑨ φ30 取出しφ20MU 分岐φ20MU
- ⑩ φ25 取出しφ20MU 分岐φ13MU

～分水止め～

- ⑪ チーズを直管に換える
- ⑫ チーズをエルボに換える

～1敷地1取出し～

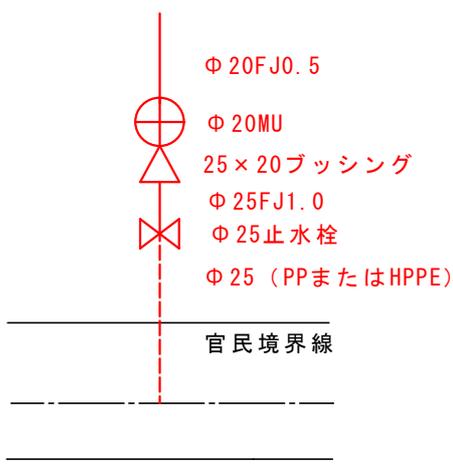
- ⑬ 一般住宅の場合
- ⑭ 集合住宅・貸店舗・2世帯住宅・併用住宅等の場合
- ⑮ 一般住宅・集合住宅・貸店舗等の例

～取出し方法～

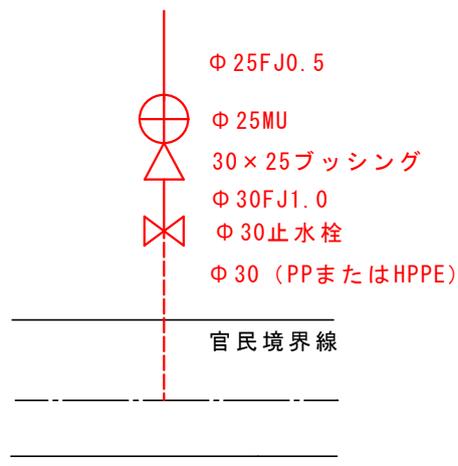
- ⑯ 隅切り部分の取出し
- ⑰ 給水用地内の離隔
- ⑱ 給水管を道路縦断して布設する場合の注意事項
- ⑲ 水路上越しの注意点

～メータ一廻り～

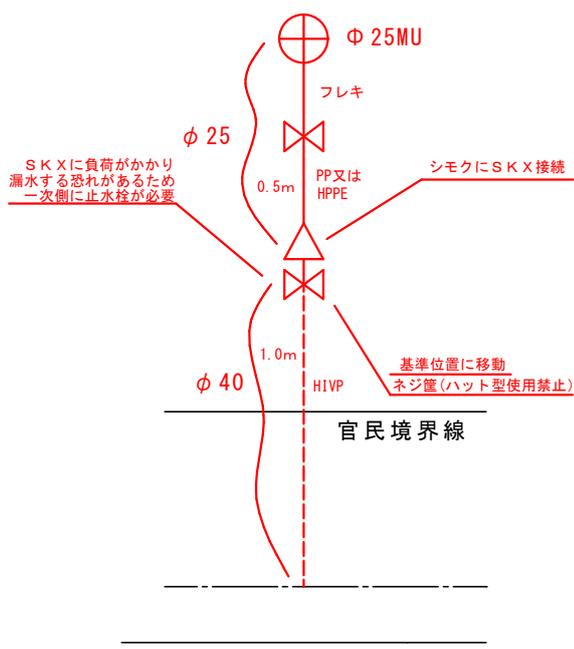
① 既存φ25取出しφ20MU



② 既存φ30取出しφ25MU



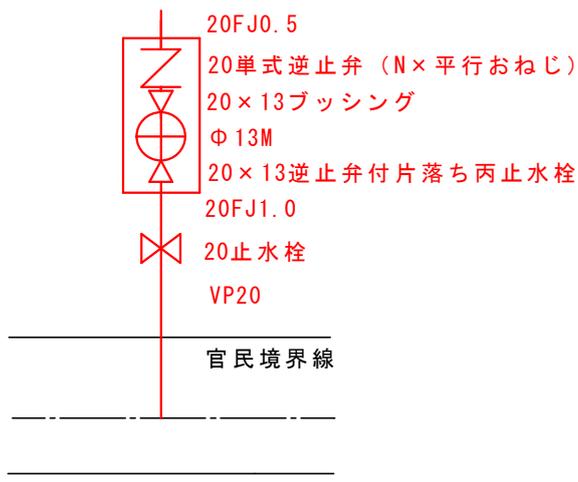
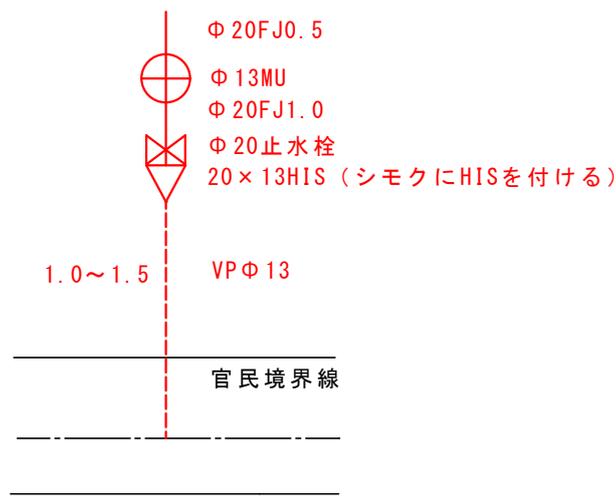
③ 既存φ40取出しφ25MU



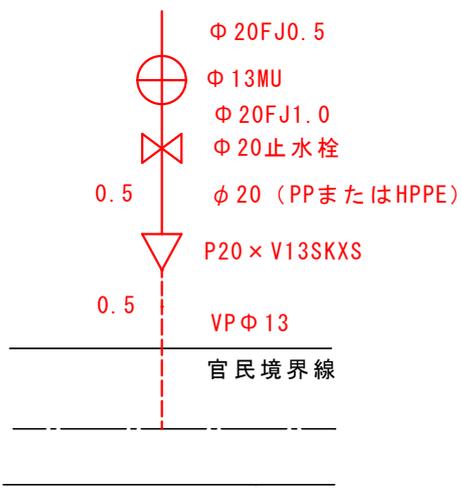
④ 3階直結給水の3階φ20MU廻り



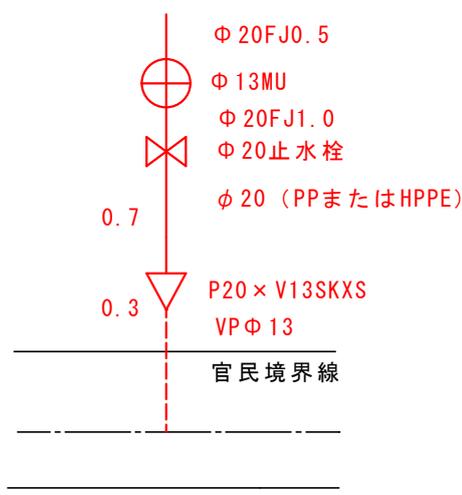
※パイプシャフトにメーターを設置する場合、メーター二次側の口径はφ20でよい。

⑤ φ20取出しφ13M (ユニットではないメーター)
※原則はユニットとする。⑥ 既存φ13取出し
(官民境界から1.0m以上)

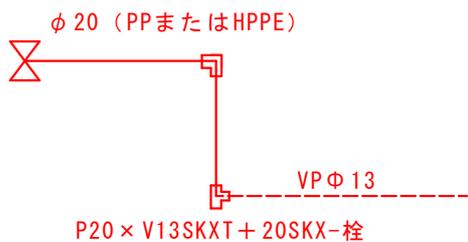
⑦ 既存φ13取出し
(官民境界から0.5以上1.0m未満)



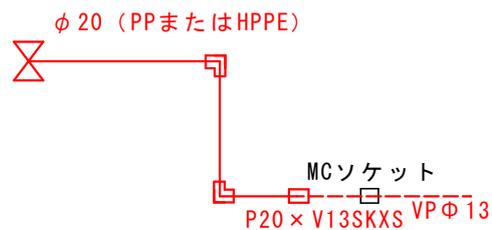
⑧ 既存φ13取出し
(官民境界から0.5未満)



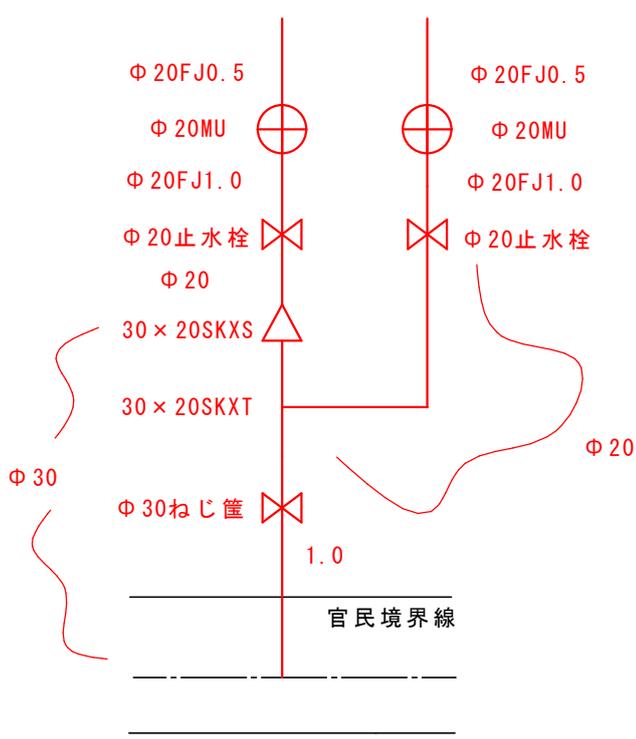
立上げる場合



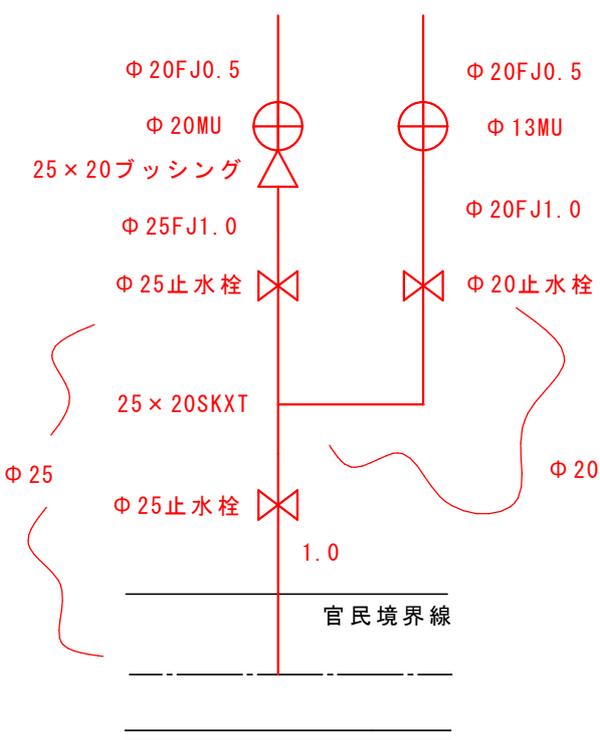
立上げる場合



⑨ φ 30取出しφ 20MU、分岐φ 20MU



⑩ φ 25取出しφ 20MU、分岐φ 13MU



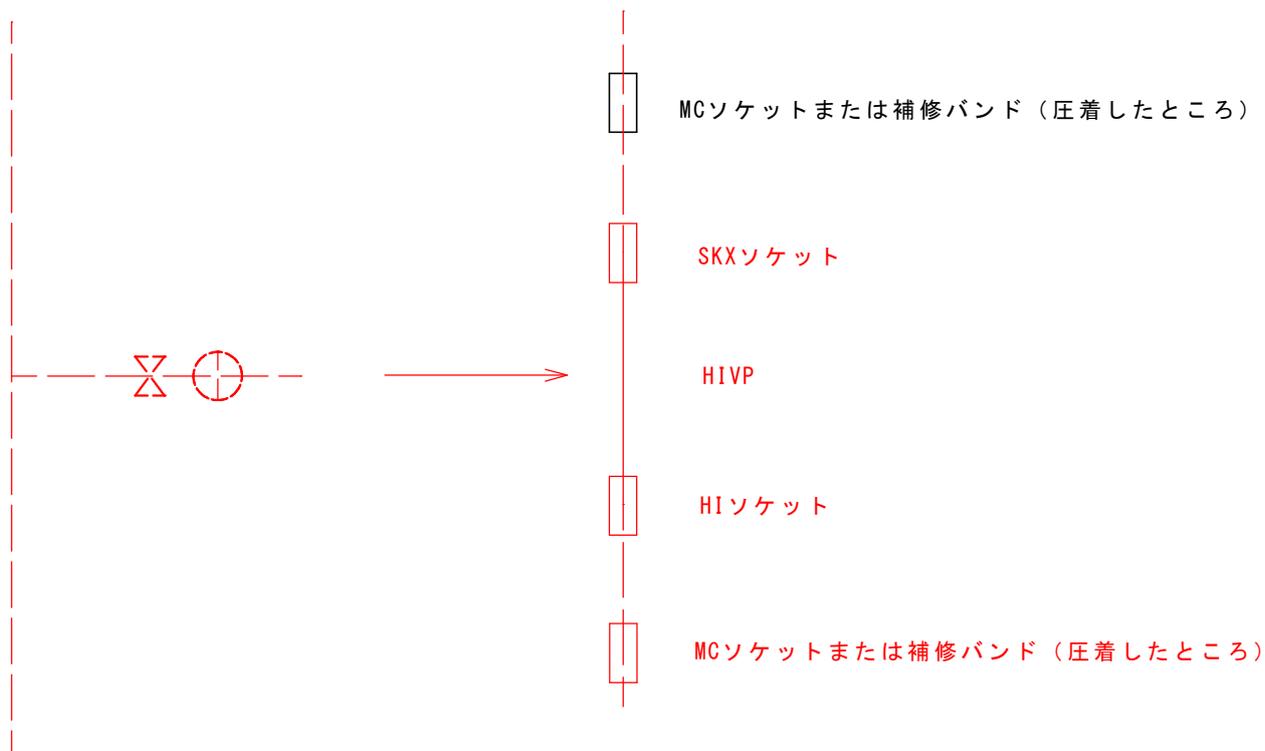
～分水止め～

⑪ チーズを直管に変える

※分水止めで使用する管はHIVP可。

※ソケットは一つはSKXを使用。

※SKXソケット使用箇所は上流側、下流側どちらでもよい。

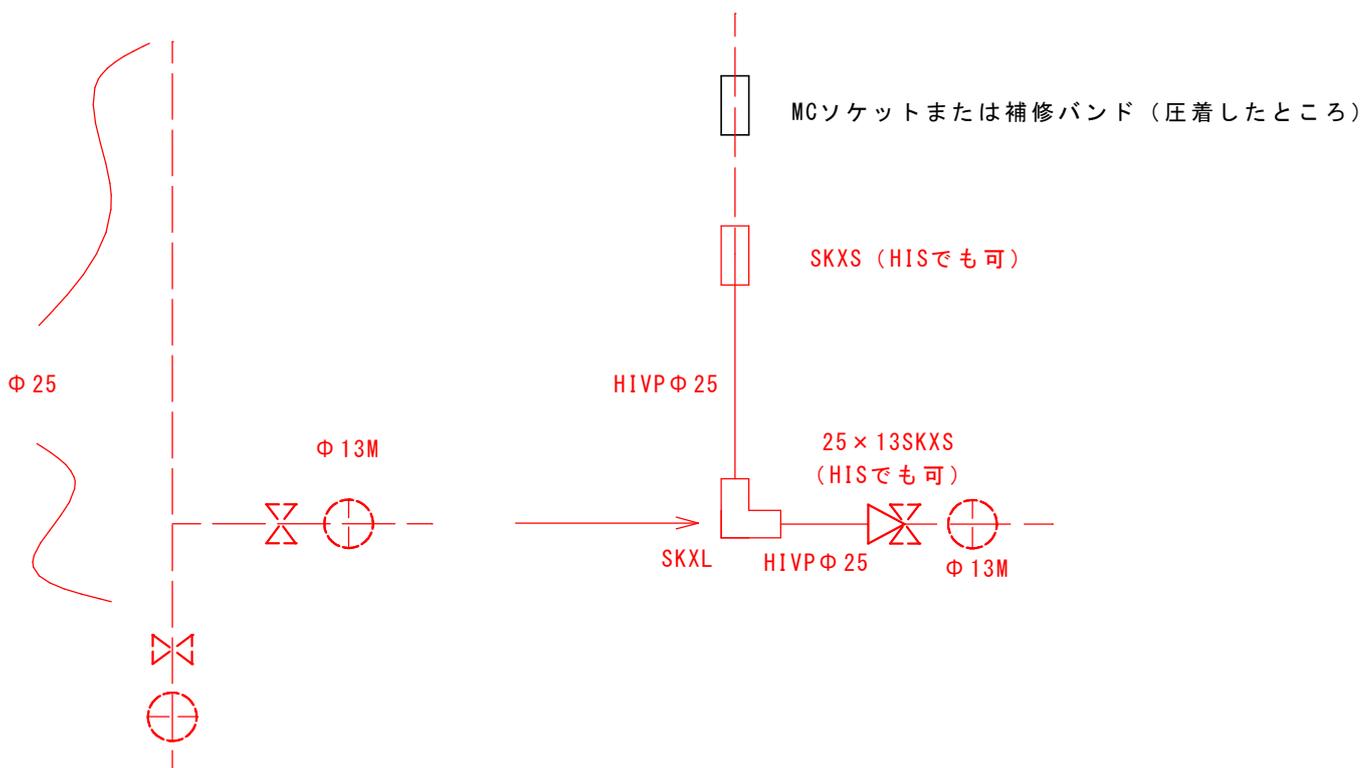


⑫ チーズをエルボに変える

※分水止めで使用する管はHIVP可。

※エルボはSKX使用。

(直管部分に比べエルボ部分は水の衝撃を受けやすいため)

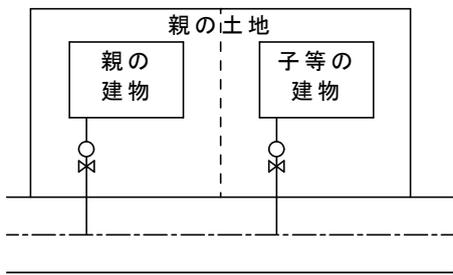


～ 1 敷地 1 取出し ～

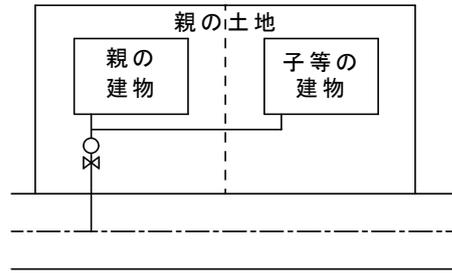
⑬ 一般住宅等の場合（親の土地に子等が家を建てる）

1. 分筆又は敷地分割する

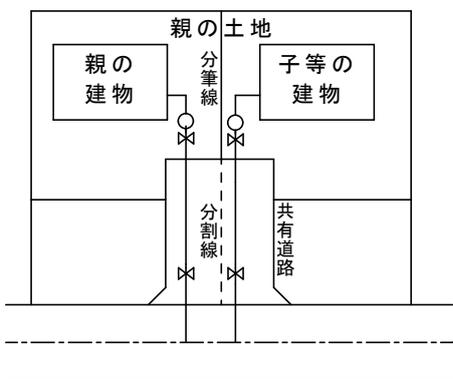
(1) 建物ごとに出出す



(2) メーターを1つ設置

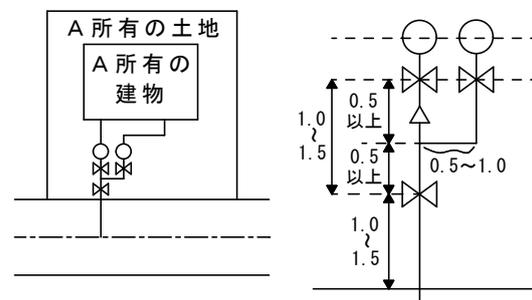


(3) 共有道路の敷地分割



2. 2世帯住宅・併用住宅

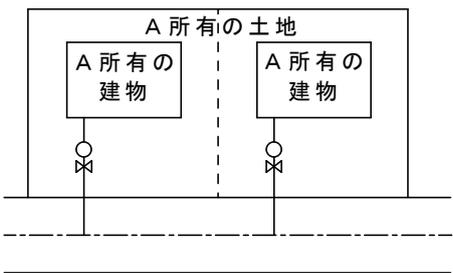
(1) 1取出しメーター2つ設置



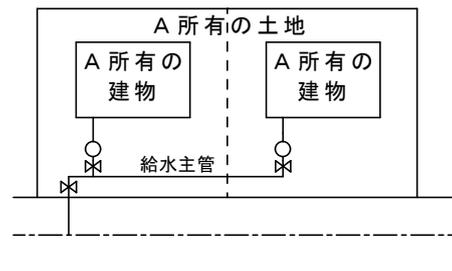
⑭ 集合住宅・貸店舗等の場合

1. 分筆又は敷地分割する

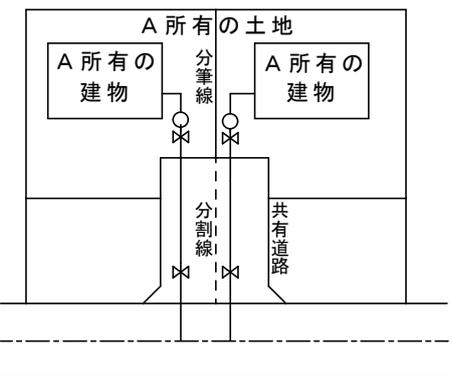
(1) 建物ごとに出出す



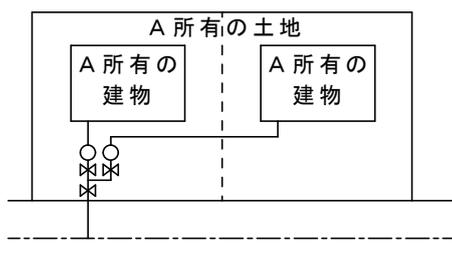
(2) 給水主管からの分岐



(3) 共有道路の敷地分割



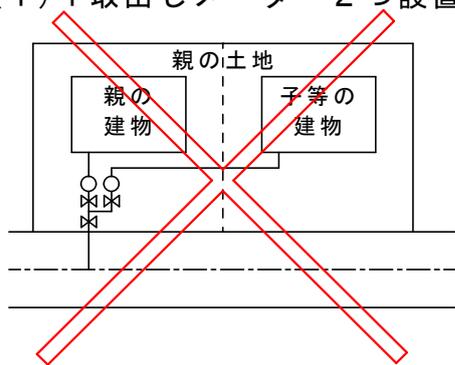
(4) 1取出しメーターを2つ設置



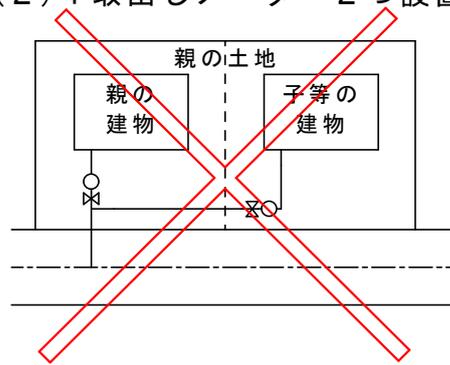
⑮一般住宅・集合住宅・貸店舗等の例

1. 一般住宅

(1) 1 取出しメーター 2 つ設置

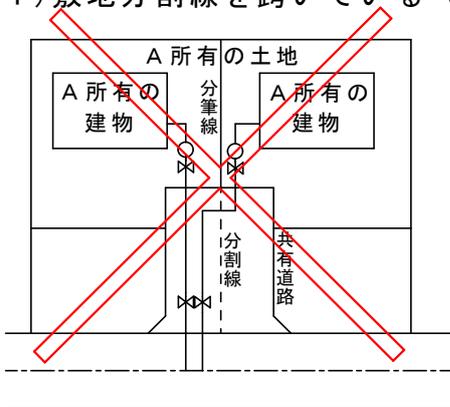


(2) 1 取出しメーター 2 つ設置

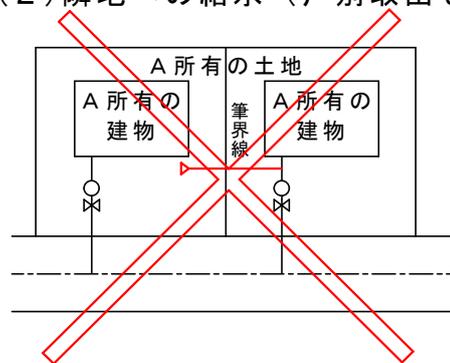


2. 共通

(1) 敷地分割線を跨いでいる (共有道路)



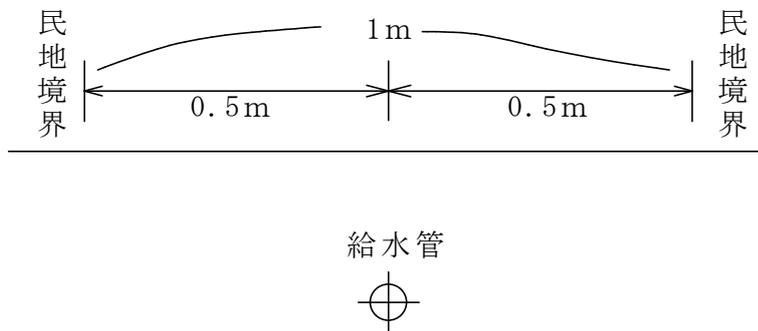
(2) 隣地への給水 (戸別取出し)



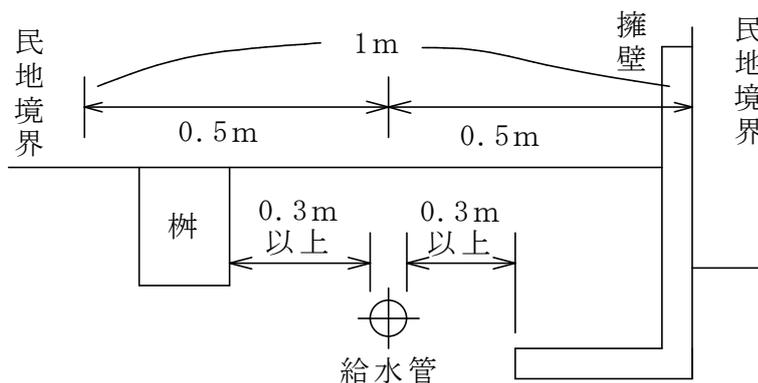
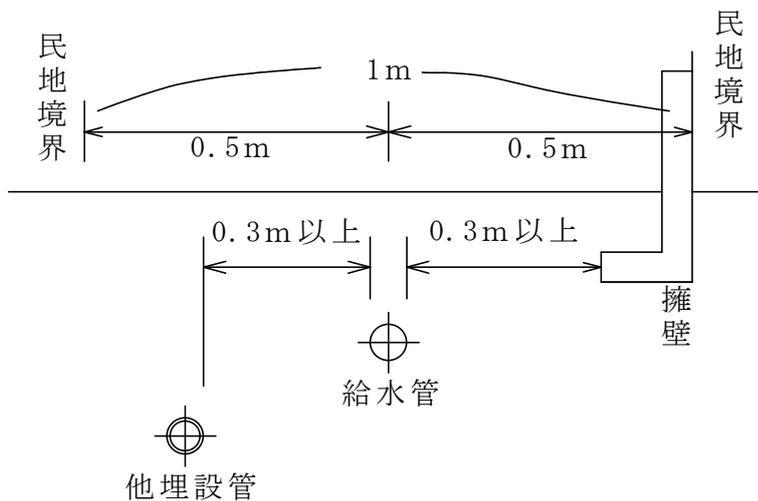
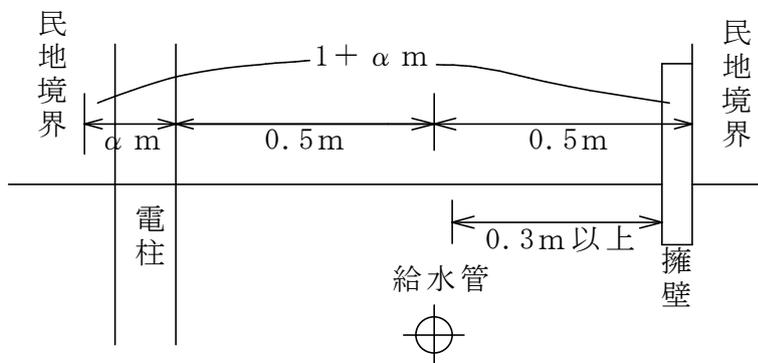
⑰ 給水用地内の離隔（φ50までのメーター1次側）

※2次側は他の構造物や境界との離隔は有効で0.3以上確保する

1. 給水用地の幅は1 m以上確保する。
2. 給水管は境界線や他の埋設物から0.5 m以上離す。

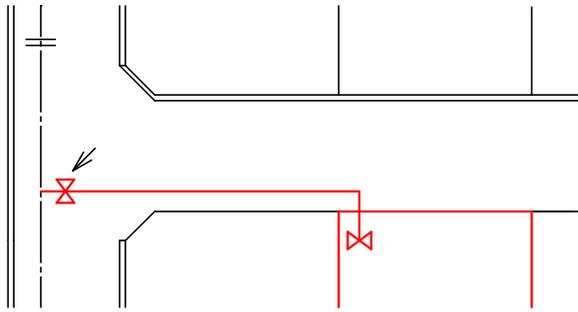


3. 電柱は0.5 m以上離す。擁壁がある場合、境界線まで0.5 m以上離す。

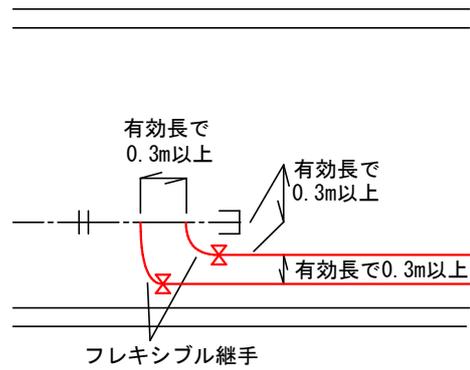


⑱ 給水管を道路縦断して布設する場合の注意事項

取出し可能、乙止水栓を交差点内に設置してよいかは道路管理者に確認する
 ※ 2車線以上の道路は T-25 の筐を設置する

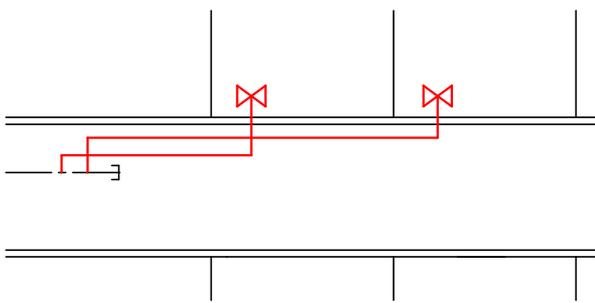


配水管から分岐後すぐに縦断方向へ給水管を2本布設する場合、サドル分水栓と乙止水栓はフレキシブル継手で接続する

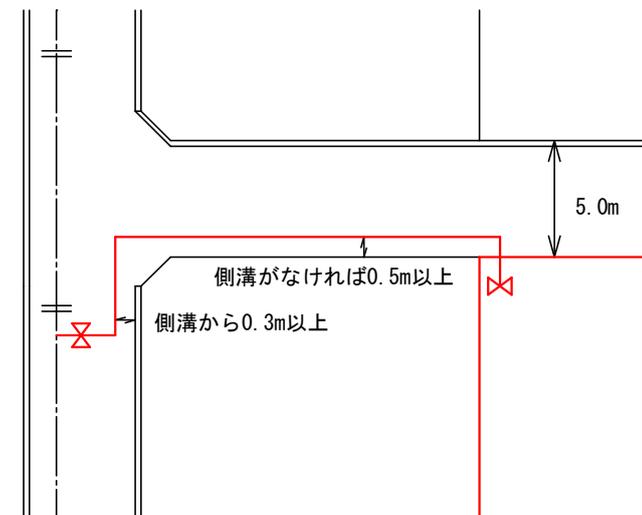
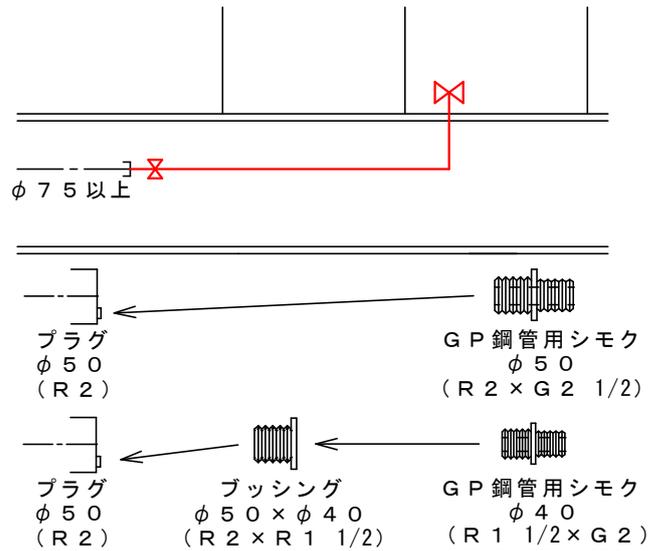


給水管を縦断して布設する場合、並走している給水管と原則交差しないようにする。
 給水管同士の交差部分の上下の離隔は 30 cm 以上とる

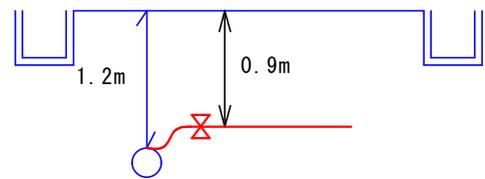
※ 間違った施工例



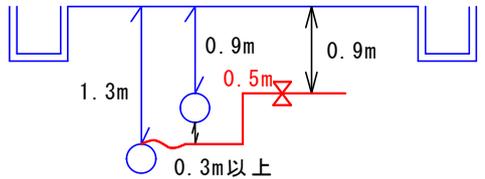
管幅からの取出し方法



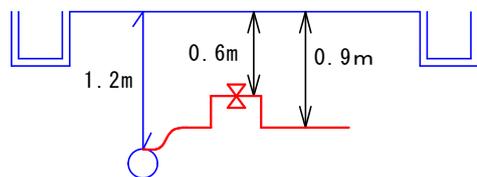
断面図例①



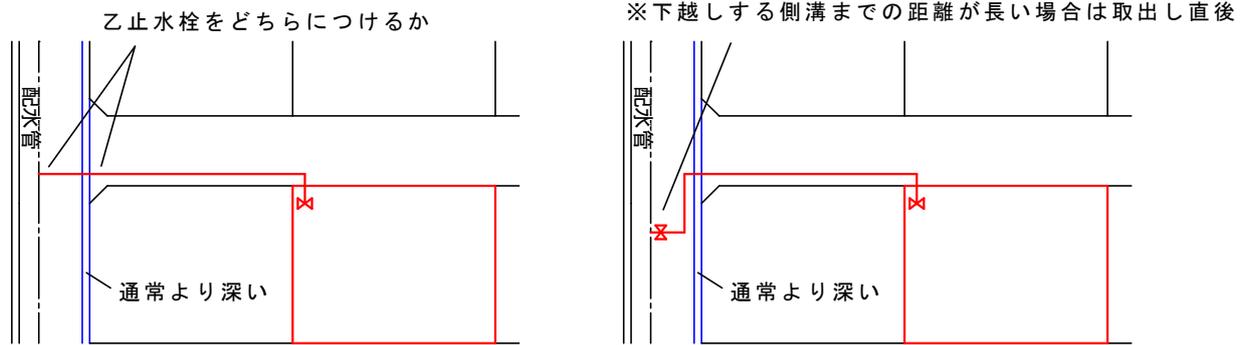
断面図例②



※ 間違った施工例



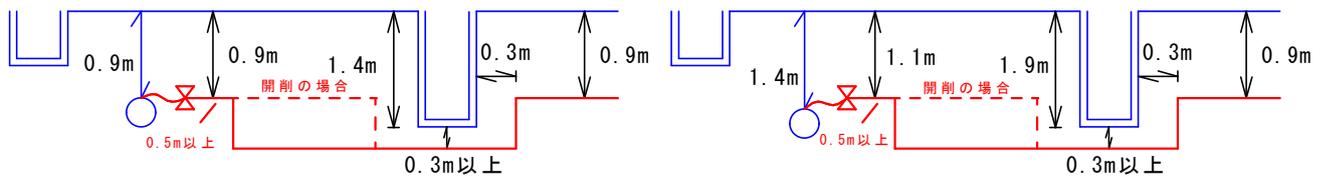
●給水管を道路縦断して布設する工事で、取出し付近の通常より深い側溝（構造物）を下越しする場合の第1乙止水栓の設置位置について



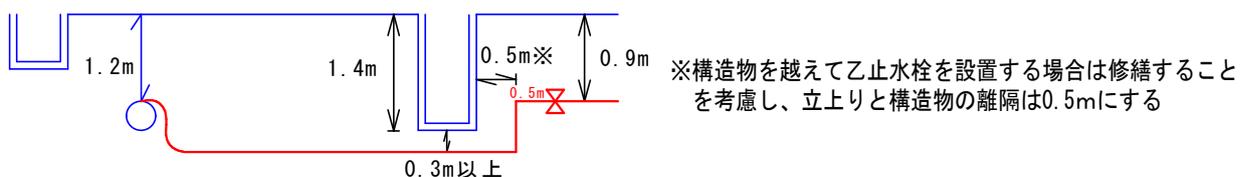
－ 施工方法 －

- ・原則、乙止水栓は取出し直後に設置する。ただしフレキシブル継手で深さを変え構造物を下越しできる場合は、構造物を越えてから乙止水栓を設置する。
- ・フレキシブル継手で変えられる高さは、500Lは0.3mまで、1000Lは0.7mまでとする。
- ・乙止水栓の最大の深さは1.1mまでとする。

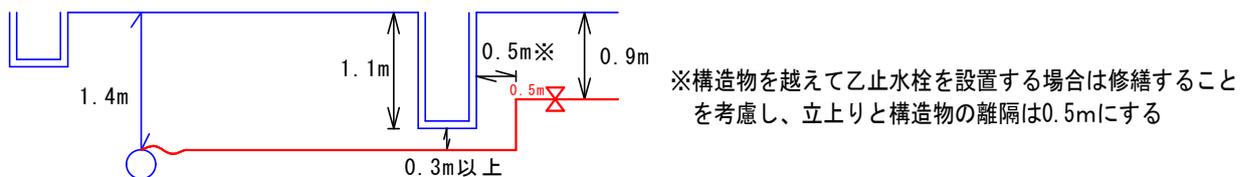
- ①配水管と側溝下越しする給水管の深さをフレキシブル継手で調節できない場合は、乙止水栓は取出し直後に設置する。
開削工事の場合、下越しする側溝手前のエルボは、側溝から0.3mの位置にする。



- ②配水管と側溝を下越しする給水管の深さをフレキシブル継手で調節できる場合は、乙止水栓は側溝下越し後に設置する。

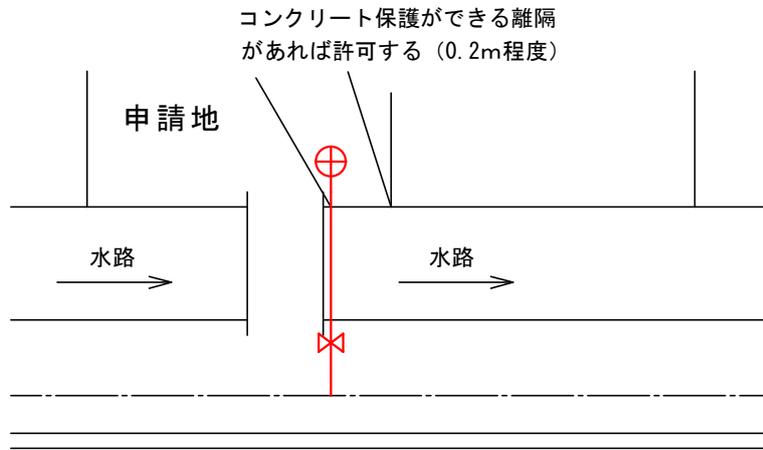


- ③配水管の深さが、側溝下越しする給水管以上に深い場合は、乙止水栓は側溝下越し後に設置する。



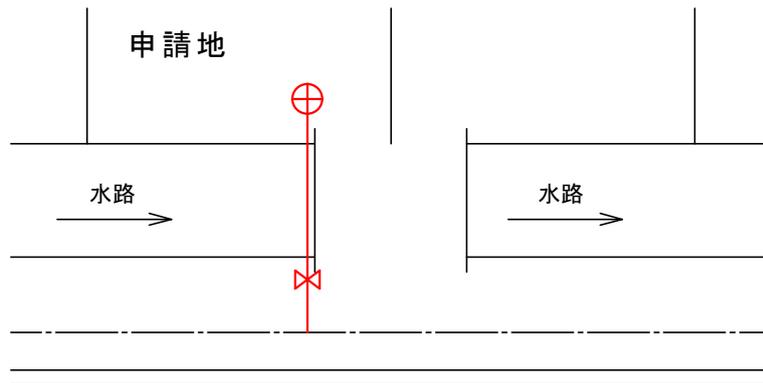
⑱ 水路上越しの注意点

① 取り出し管と隣地境界との離隔



② 橋の下流側が敷地に接していない場合

橋の下流側が敷地に接していない場合に限り、橋の上流側に添架する



③ メーターを曲げた場合の官民境界（水路側）との離隔

敷地内のコンクリート保護部分のところで90°曲げる施工は許可する

